

第18回 まんがの日記念

4コマ まんが 大賞 作品展

2022年
12月17日 土
2023年
▶ **1月9日** 月

高知市立自由民権記念館
自由ギャラリー

[開催時間] 9:30~17:00
[休館日] 12月19日、12月26日~1月4日

第18回「まんがの日記念・4コマまんが大賞」入賞作品と一次審査通過作品などを展示します。今年も来場者が選ぶ「ギャラリー賞」を実施!! あなたの一票をお待ちしています。4コマという限られたスペースの中で表現されたユーモアあふれる作品をお楽しみください。



**入場
無料**

ギャラリー賞

審査員になる!!

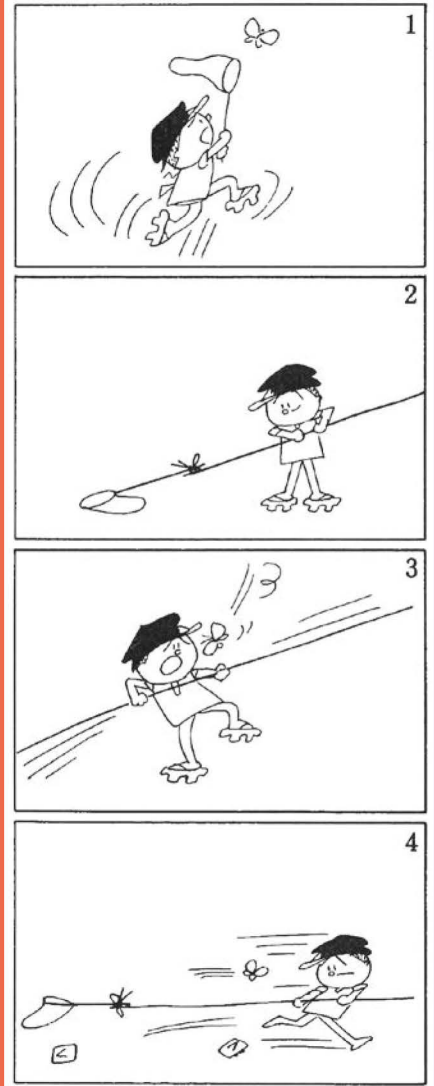
惜しくも賞をのぞいた作品の中から、来場者の投票でギャラリー賞を選出します! あなたのお気に入りの作品を探してみませんか?

- 審査員** 来場者のみなさん
- 審査対象** 展示作品(受賞作除く)
- 賞品** 表彰状、図書カード(500円分)
- 投票方法** 一般部門、ジュニア部門からそれぞれ好きな作品5点ずつ選び、投票用紙を投函
- 賞** 得票数上位作品より、両部門それぞれ5点前後を表彰
- 掲載** 作品展終了後、横山隆一記念まんが館HP等で発表

お問い合わせ 千781-9529 高知市九反田2-1 高知市文化プラザかるぼーと内
横山隆一記念まんが館 TEL 088-883-5029 FAX 088-883-5049
URL <http://www.kfca.jp/mangakan/>



フクちゃん 横山隆一 (1961年)



今年、まんが館が休館のため、会場に高知市立自由民権記念館を借りて、「第18回まんがの日記念・4コマまんが大賞」応募作品の中から、入賞作品12点を含む一次審査通過作品など約160点を展示します。

恒例となつている、受賞を逃した作品の中から来場者の投票で選ぶ「ギャラリー賞」も決定します。審査員になつて、いつもと違う視点で作品を鑑賞し、お気に入りの作品に投票してください。

また初日には、審査員の先生方をお迎えして、表彰式を行う予定です。当日、受賞者から作品解説が聞けるかもしれません。ぜひご来場ください。

期 間●2022年12月17日(土)~
2023年1月9日(月・祝)

場 所●高知市立自由民権記念館
自由ギャラリー

時 間●9:30~17:00

休館日●12月19日、12月26日~1月4日

観覧料●無料

主 催●高知市、公益財団法人高知市文化振興事業団 横山隆一記念まんが館

第18回
まんがの日
記念

4コマ
まんが
大賞

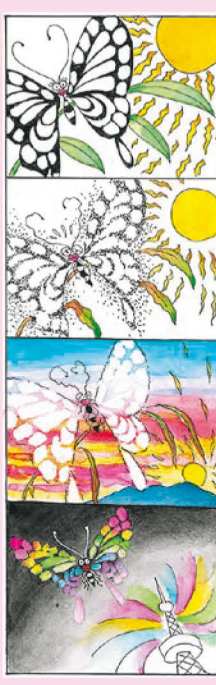
一般部門

フクちゃん大賞◆「あおりの果て」



加藤桂

やなせ免賞◆「夜の蝶になりました」



村上武志

よさこい賞◆「釣りがチャ」



P.N. オノ工源

高知市長賞◆「ほごご」



P.N. ひもと・はじめ

よさこい賞◆「死神」



一階堂正宏

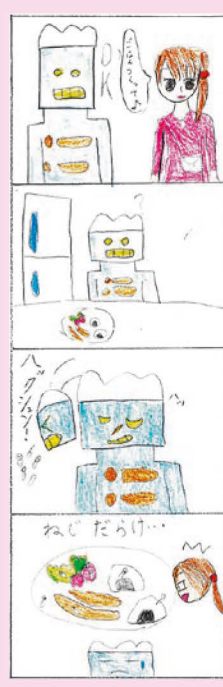
よさこい賞◆「近くのボタン」



梶浦政治

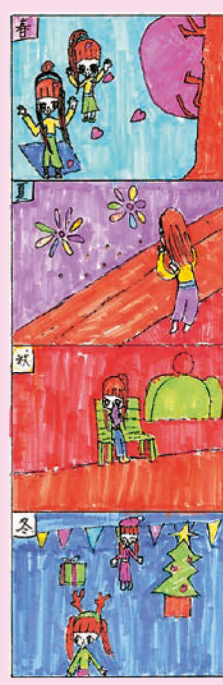
ジュニア部門

フクちゃん大賞◆「ロボットのおりょうり」



小野むつみ

やなせ免賞◆「春夏秋冬」



近森美羽

よさこい賞◆「宝箱の中身」



中野友輝

高知市長賞◆「節約と妥協」



倉石権

よさこい賞◆「ぶどうの生き方」



杉藤美優

よさこい賞◆「カエルと合唱」



鈴木希和

4コマまんがが創作の楽しさと高知からのまんが文化の発信を掲げ、全国から公募した「まんがの日記念・4コマまんが大賞」第18回となる今回は、42都道府県から一般部門486人678点、ジュニア部門360人394点、計846人1,072点の作品が寄せられました。高知出身まんが家、矢野徳さんとくさか

里樹さんによる審査の結果、一般部門では愛知県の加藤桂さんの「あおりの果て」が、ジュニア部門では高知市立朝倉第二小学校4年の小野むつみさんによる「ロボットのおりょうり」がフクちゃん大賞に選ばれました。学校賞は南国市立大篠小学校と高知市立朝倉第二小学校に決定しました。

今年で開館20周年を迎えた横山隆一記念まんが館の開館前後を、実際に携わった方々にお話を聞いて振り返ります。

2回目の今回は、まんが館の展示設計を監修された、高知みらい科学館館長の高橋信裕さんにお話を伺いました。



横山隆一との縁を聞かせてください。

僕がまんが館の展示設計をすることが決まってから、初めてご挨拶に行きました。かるぼーとの設計をした大阪の設計事務所が、音響学の大学教授をトップ監修者にして、舞台設備、建築音響などの専門家を招集したのだけれど、その中の「展示の専門家」と呼ばれた。同じ高知県出身だから、ということもあって。

展示について、隆一からの希望や注文はあった?

かるぼーと全体を指して「まんがの高知城」をつくらうって大志があったみたいだけどもね。

隆一さんは「海岸で作った砂のお城に波が来て、すべてが流れ去ったとき、貝がらを見がいて作ったお城の瓦の一片を誰かに拾われて、捨てるのもおしいな、と思われような作品を作る」とよく言っていて、展示もそのようにありたいねと仰っていました。我々はその意見は控えめにそう仰っていました。と解釈して、「光る」展示にした。なるだけ、「前に出る」よつな。「人とのつきあいの巧みさ」「人脈のすごさ」を前面に出して、隆一さん本人の魅力を全部紹介する、というのを展示のコンセプトにした。

鉄道模型(隆一GARRAGARA)、(ホームバー)、グラ、アトリエの復元は初めから決めていて、魚々タワーを目玉に考えていたね。

その魚々タワーですが、全長9メートル。かなり大きいですよ。

大きさは、隆一さんからの注文。そして、平面じゃなく立体で。完成までは何度もやり直しをしたみたいよ。原画もすべてご自身で描かれた。

音楽はタケカワユキヒデさんに依頼したんだけど、作曲に関して何かポイントになることがあれば、という相談に、隆一さんが作るアニメには擬音がユニークに取り入れられているから、曲の中に「ガチガチ」とか「ギーギー」とか擬音のような音を埋め込んでほしいか、という話をしたね。

確かに、いろんな音が組み合わせられた不思議で楽しい音楽になっています。

アニメといえば、アニメ制作を紹介する展示を必ず入れてくれ、というのはあって、「おとぎプロ」の紹介はしっかりやっただね。この分野では第一人者という自信があったと思うよ。

自分たちが鎌倉のお宅に出入りしていたころのワクワク感が欲しい、と工夫を凝らした。

どういうところが一番ワクワクしたんですか。

だって、(家に) 居酒屋があるんだもん(笑)。夕方5時になったら、打ち合わせの最中でも仕事は終わりになって、お酒がでるの。

隆一とはどんな話を?

世間話かな。あとは、エピソードを交えながら珍コレクションの説明を聴いたり。僕も何かコレクションを持ちたいって言ったら、横山家のお風呂のタイルや、即興で創ってくれた僕の横顔の切り絵などなど、30点くらいいただいた。今でも「高橋コレクション」として大事にしてるよ。

隆一はどんな人でしたか? また、鎌倉のお家はどんなところでしたか?

気さくで優しく、思いやりがあって、(話が) 面白い。例えば、僕の出身地の話をするとそれに合ったエピソードが出てくる。付き合いや知識が広いからね。鎌倉には文化人が沢山いたけど、その中のボス的存在だった。

鎌倉のお宅が、「交流施設」だったんだよね。花見だの会合だのと集まる理由を隆一さんがつけてくれて。あそこに行けば、ひととき楽しく過ごせるわ、っていう場所をみんなに提供してくれてたんだよね。「私」の領域を超えた、今で言う「新しい公共」のモデルみたいなところだった。

開館して20年が経ちました。

もっと、来館者を増やしたいよね。もっと知ってもらいたい。隆一さんは、「大人のまんが」を目指していた。子どものためではなく「紳士淑女の教養」って。もちろんフクちゃんも良いんだけど、趣味も交遊も広げて、油絵も描いていて、ご本人がこんなに資料を残してくれているのだから、お金を使わずにできること、もいつばいあると思うよ。ネタを探して。

今もう一度展示を設計するならどんなことをやってみたいですか。

来館者が自分で鉄道模型を操作できたら楽しいね。それに、隆一さんの切り絵を動かしたり、来館者がスクリーン上に描いた絵をずっとストックしておいて何年後でも自分が描いた絵を見れるとか、デジタル技術を使った展示をやってみたいね。

あと...、せつかくバーがあるのだから、お酒を出してみたいけど。海外では出しているところもあるし、夕方5時からでも、やっぱり駄目かね。

次回もお楽しみに。



まんが館YouTube Channel. オンラインでの活動の紹介

当館のYouTubeチャンネルでは、横山隆一のもとに様々な縁で集まった珍品のコレクション「珍コレクション」を、「フクちゃん」の今日の「珍コレ」と題して紹介しています。

6月に投稿した「第27回」フクちゃんの「今日の珍コレ」は意外な発展がありました。東京新聞の記者からこの象の牙の足どりを取材している、と連絡を受けました。象の牙の寄贈者にあたる小林清之介の書籍のあとがきに、隆一に贈ったとの記述を見つけ、当館について調べたところ、この動画を見つけたそうです。その後取材を経て、「長い長いゾウの話」というタイトルで9月に前後編として紙面に掲載されました。象の牙が当館に来た経緯のほか、動画についても後編で触れられています。

珍コレクションは特殊な生い立ちを持った品も多く、バラエティに富んでいるのでぜひチャンネルのリストから気になったものからでもご覧ください。また、珍コレクションに関する取材もお待ちしております!



江戸時代に採取され空襲から残った象の牙

「まんさいーこうちまんがフェスティバル2022」を開催しました

第19・5回とした「まんさいーこうちまんがフェスティバル2022」を10月9日(日)に開催しました。3年ぶりの実地開催はオーテピアを会場とし、まんさいの未来について語り合う「みんなで語ろう! まんさいシンポジウム」、高知の未来をテーマにまんがのストーリーを制作する「ワイワイみんなでまんがのストーリーを創ろう! キッズワークシヨップ」、過去のまんさいのポスターやグッズ等を展示する「まんさい秘宝展」を実施しました。

シンポジウムにはまんが家・正木秀尚さんや月刊少年シリウス編集長・山口崇さんのほか、サブライズゲストとしてまんさい親善大使の声優・小野大輔さんが登壇し、熱心にまんさいへの想いを話し合いました。来年の第20回にどのように生かすのか、次のまんさいをどうぞお楽しみに。



「令和4年度親子ふれあい講座」に行ってきました!

高知市文化振興課が主催する「親子ふれあい講座」に協力し、「まんが風鈴をつくろう!」、「こどもまんが教室 まんがの描き方入門!」、「似顔絵を楽しもう!」〜似せる「コツ」を教えます〜の3つの体験イベントを開催しました。

絵を描いたり工作に挑戦したり、プロのまんが家が使った道具を体験したりと、親子で楽しい時間を過ごしていただけたようです。

新型コロナウイルスの第7波が猛威を振るい、参加人数が少なくなった回もありましたが、子どもたちが保護者と一緒に真剣に取り組む姿を見られてとても嬉しい気持ちでした。来年度、再開したまんが館で開催するまんが体験イベントもぜひご参加ください。



お父さんも子どもたちも挑戦しました

2022冬のまんが体験イベント「まんがで遊ぼう!」プレクリスマス

恒例の冬のまんが体験イベント「まんがで遊ぼう!」プレクリスマスを、今年もクリスマスイブに開催します。まんが館が休館中なので、自由民権記念館で「オリジナル缶バッジ」を製作してもらいます。さらに、参加してくれた皆さんには、「まんがクリスマスカード」のキットも差し上げます。メッセージをしたためたカードに世界で一つだけのバッジを添えて、プレゼントにするのもいいですね。

- 日時 ● 2022年12月24日(土)
- 場所 ● 高知市立自由民権記念館 自由ギャラリー一前
- 時間 ● 10:00~16:00
- 参加 ● 無料。ただし「4コマまんが大賞作品展」でギャラリー賞への投票が必要
- 主催 ● 公益財団法人高知市文化振興事業団 横山隆一記念まんが館

絵本大好評!

まんが館開館20周年記念事業として、9月1日に発売した『ふうせんどり』。隆一が得意とするユーモアにあふれ、遊び心が感じられます。子どもたちへの読み聞かせにはもちろんのこと、大人が読んで癒される内容です。まだお読みになってない方はぜひ一読ください。実は未刊行作品が他にもあります。それもみなさんに読んでもらえる日が来ますよ!...



休館四方山話

横山隆一が生前関わってきたアニメの原画や下絵、新聞記事やポスターなどが分類されることなく収蔵庫に保管されていたので、それらを仕分けし、画像やいつ頃の資料なのかなどの情報を収蔵品管理システムに取り込み登録しています。35mmのフィルムからはじまり、製作に使われた顔料や、紹介記事等の切り抜き、アニメの主題歌のLP盤などを登録してきて、現在(2022年9月22日)大量のアニメの下書きやラフ画の登録がそろそろ終わりそうです。が、次にまうちけるのは臭いのきついセル画…。…がんばるぞ!



下絵とセル画のフクちゃん



9月からInstagramとTwitterの更新を担当することになりました。もう一人の担当と、今日はどんな話題を投稿しよう…と日々頭を悩ませています。同時期にアイシングクッキー作りに興味を持ち、道具を揃えていたところだったので、せっかくだからと隆一作品をテーマにしたものを作ってアップしてみました。9月は「ふうせんどり」、10月は「ハロウィン」をテーマにしました。ゆくゆくはフクちゃんモチーフのアイシングクッキーにも挑戦したいです。(時)

館のご案内

お問い合わせ先

横山隆一記念まんが館は、建物改修工事に伴い休館しています。(令和4年4月1日~令和5年3月31日予定)

〒781-9529 高知市九反田2-1
高知市文化プラザかるぼーと内
横山隆一記念まんが館
TEL:088-883-5029
FAX:088-883-5049
URL:http://www.kfca.jp/mangan/
E-mail:mangan@kfca.jp



@mangan_kochi



mangan_kochi



横山隆一記念まんが館